

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外客宿泊者数は驚異的な数値になりましたが、約7%アップの目標で全体的には、国内宿泊者数が前年より大きく下まわりトータルで約8%下まわりました。これからは、外客宿泊者数はまだまだ増えると思います。構成員6者の地域差と予約システムの関係もあると思われませんが、国内宿泊者数の伸び悩みの原因と対策が必要と思います。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p> <p>※10月より山田屋旅館が廃業、1月15日～2月28日まで倉敷ロイヤルアートホテルが全面改装のため休業</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>883 (人)</p>	<p>1,167 (人)</p>	<p>3,801 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>567 (人)</p>	<p>750 (人)</p>	<p>2,838 (人)</p>
	<p>第3四半期 5者</p>	<p>508 (人) (498)</p>	<p>672 (人) (662)</p>	<p>3,918 (人)</p>
	<p>第4四半期 5者</p>	<p>430 (人) (420)</p>	<p>568 (人) (558)</p>	<p>2,367 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>平成28年3月、岡山空港に香港、7月に台湾の2路線が新たに就航された。岡山県では、観光資源の海外PRや、LCC就航の開発、免税システムの導入、インバウンド向け鉄道バスの販売等の多岐にわたるインバウンド対策が実施されています。外客宿泊者総数4月～12月前年対比約136%アップで、東南アジアの外客宿泊者数が多く特に、台湾、の外客宿泊者数が4月～12月前年対比約183%です。その他欧米の外客宿泊者数も前年対比約118%で、まだまだ増えそうです。構成員6者の地域差と予約システムの関係もありますが、全体的には驚異的なアップになりました。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>現在これだけ、インバウンドブームが拡大されつつありますので、それを、さらに拡大するためには、各施設のインバウンド受け入れ対策の設備等の整備と接客サービスの教育強化が必要と思います。</p> <p>設備等の中でも、多言語サイト、Wi-Fiの整備、多言語案内表示、トイレの洋式化は絶対必要と思います。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	宮島旅館組合			
住所	739-0553 広島県廿日市市宮島町527-1			
代表者氏名	有本隆哉			
連絡先	0829-40-2929			
構成員	<p>旅館かんざき、宮島コーラルホテル、宮浜グランドホテル、東京荘、安芸グランドホテル、あんばらんす、いる家、石亭聚景荘、宮島ホテルまこと、ホテル菊乃家、宮島グランドホテル有もと、ゲストハウス菊がわ、宮島シーサイドホテル、錦水別荘、ホテルみや離宮、山一別館、蔵宿いろは、錦水館、ホテルニュー寿旅荘かわぐち、もみぢ荘、宮島四季の宿わたなべ、旅彩のお宿水羽荘、フォレストヴィラ水羽、さくらや、岩惣、宮島ゲストハウス三國屋、みやじま杜の宿（構成員29者、内補助対象者7者）</p>			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備3件(2)トイレの洋式化3件 (3)自社サイトの多言語化4件(10)その他 パスポートリーダーの導入1件		
	実施時期	平成28年11月20日～平成28年12月29日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助対象経費合計11,627,713円 補助金合計 5,068,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	68.0 (%)	72.9 (%)	76.9 (%)
	第2四半期	64.1 (%)	69.6 (%)	71.7 (%)
	第3四半期	76.9 (%)	80.3 (%)	75.8 (%)
	第4四半期	51.6 (%)	56.7 (%)	54.2 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>平成29年も来島者は450万人と増え続けましたが、その割合に対し、第3四半期が伸びていません。12月の稼働率が下がった施設が半分以上あります。寒波到来などの、天候の影響も大きいと考えられます。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>4,722 (人)</p>	<p>7,129 (人)</p>	<p>6,897 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>5,404 (人)</p>	<p>7,748 (人)</p>	<p>6,475 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>3,704 (人)</p>	<p>5,304 (人)</p>	<p>4,574 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>4,121 (人)</p>	<p>5,561 (人)</p>	<p>4,014 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外国人宿泊客が目標を達成しなかったのは、当該構成員の多くが国内の修学旅行・団体旅行等を中心にする施設があることと、思った以上に、外国人観光客が来ているものの、宿泊まで結びついていないと思われます。 広島からのアクセスの良さが、広島市内に宿泊して、日帰り観光客も多いとの危惧する声もあります。(短時間の滞在型が多い)</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>Wi-Fi整備、トイレの洋式化、自社サイトの多言語化、パートナー導入を契機に、施設のインバウンド受入れ体制を整えていきます。宮島のアクセスが船(フェリー)に頼るしかない現状があり、旅館・ホテルの人手不足の慢性化に不安があります。従業員確保のために、これからは外国人スタッフも視野に入れていく必要があると思います。</p>			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	尾道旅館ホテル業組合			
住所	〒722-0045 広島県尾道市久保三丁目 1 4 - 1			
代表者氏名	花本 聖士			
連絡先	0848-37-1112			
構成員	① 養老温泉本館 (代表：武内 隆幸) ② グリーンヒルホテル尾道 (代表：佐藤 友哉) ③ 山陽工業株式会社 尾道国際ホテル (代表：高橋 宏明) ④ 山陽工業株式会社 尾道ロイヤルホテル (代表：高橋 宏明) ⑤ 山陽工業株式会社 尾道第一ホテル (代表：高橋 宏明)			
団体事業	具体的な内容	なし		
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	英語版館内デジタルガイドの設置 3 件、トイレの様式化 1 件、自社HPの多言語化 1 件、Wi-Fi整備 1 件、クレジット端末設置 1 件		
	実施時期	平成28年9月～平成29年1月		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費 5,507,595円 補助金額 2,702,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	69.8 (%)	73.0 (%)	68.2 (%)
	第2四半期	71.5 (%)	76.0 (%)	75.4 (%)
	第3四半期	71.6 (%)	77.0 (%)	73.2 (%)
	第4四半期	65.4 (%)	69.5 (%)	67.0 (%)

<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>稼働率未達成の理由 ⇒概ね事業開始前の稼働率は上回ったが、目標の稼働率には届かなかった。第1四半期は桜の開花時期がずれた為、国内募集ツアーなど団体旅行が不調だった。 ⇒外国人観光客数は大幅に目標を達成している為、国内旅行客数の増加が目標を下回った。 ⇒過去数年の宿泊需要の高まりを受けて、販売価格の設定を上げて、稼働率より単価の上昇を狙った販売施策を実施した施設がある。</p>			
<p>合計外客宿泊者数の目標及び実績値</p>		<p><事業開始前></p>	<p><目標></p>	<p><実績値></p>
	<p>第1四半期</p>	<p>663 (人)</p>	<p>730 (人)</p>	<p>2,277 (人)</p>
	<p>第2四半期</p>	<p>768 (人)</p>	<p>850 (人)</p>	<p>2,156 (人)</p>
	<p>第3四半期</p>	<p>742 (人)</p>	<p>820 (人)</p>	<p>1,957 (人)</p>
	<p>第4四半期</p>	<p>619 (人)</p>	<p>680 (人)</p>	<p>1,377 (人)</p>
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外国人客達成の理由 ⇒自社サイトの多言語化と並行して、海外OTAを通じた販売強化策が功を奏し、外国人FITが大幅増加した。 ⇒ビジネス(船舶関係)で利用される外国人客が多かった。 ⇒宮島や広島市内からの流入が増えた為、欧米からのFITが増加した。 ⇒香港、シンガポールから広島空港への定期便の就航に伴い、東南アジアからのFITが増加している。</p>			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>更なる外客宿泊者の獲得に向けて、特に以下の取り組みを強化する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当地の有力観光資源の旬の情報をいち早く発信するとともに、宿泊施設のインバウンド受入体制が整備されていることをPRし、海外からの直接販売の増加を目指す。 ・それぞれの施設が当事業によって整備された設備を告知する事により、地域の受入体制をアピールする。 ・現地旅行エージェントの視察といった機会を捉え、ツアー客の取り込みを強化する。 ・しまなみ海道サイクリングを目的とした団体客を受注する事ができている。 ・海外OTAでの販売強化を図る。海外からの予約限定(IPA 			

	ドレスで設定) の早期割プランやターゲットとする国限定 (東南アジア) でのプロモーションを実施し積極的な客室提供を行う。
--	---

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	広島県ホテル旅館生活衛生同業組合			
住所	広島市中区河原町1-26 広島県環衛ビル6 F			
代表者氏名	理事長 木村 龍史			
連絡先	0 8 2 - 2 9 6 - 1 0 2 1			
構成員	別紙 構成員一覧表 参照			
団体事業	具体的な内容			
	実施時期			
	必要な資金の額及びその調達方法			
個別事業	具体的な内容	(1)Wi-Fi整備 3件 (2)トイレの様式化 1件 (7-2)タブレット端末の導入 1件 (10)その他 3件		
	実施時期	平成28年11月28日～平成28年12月27日		
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 5,254,040円 補助金合計 2,625,000円		
全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	83.9 (%)	86.0 (%)	88.3 (%)
	第2四半期	86.8 (%)	88.8 (%)	89.4 (%)
	第3四半期	82.5 (%)	86.1 (%)	85.2 (%)
	第4四半期	75.4 (%)	81.3 (%)	76.8 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	稼働率についてはH27対比で103.2%、目標に対して99.3%と目標を少し下回りましたが、ほぼ目標通りの結果でした。目標未達の主な原因については、広島でも新規ホテルやリニューアルなどがあり響いたと各ホテルからの声でした。 今後も数件のホテル開業予定があり、稼働率に関しては、			

	<p>今後更に厳しい状況が続くとの声が多くありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28年度は、広島でインターハイや大型イベントもあったが、本年度は集客に大きく寄与するようなイベントが少なかつた。 			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	14,227 (人)	17,770 (人)	18,361 (人)
	第2四半期	16,329 (人)	18,323 (人)	17,873 (人)
	第3四半期	14,428 (人)	17,308 (人)	15,472 (人)
	第4四半期	10,605 (人)	12,636 (人)	14,528 (人)
<p>目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)</p>	<p>外客宿泊数は、目標の100.3%・事業開始前119.1%と大きく伸ばすことが出来ました。</p> <p>特に第1四半期は、前年に来広されたオマバ大統領の効果もあり多くの外客がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本人の利用が多く、問い合わせは有ったが対応が出来ない事も多かつた。(団体ツアーでの利用時) 			
<p>その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策</p>	<p>今回の補助金で、インバウンド向けの環境整備やソフト面での対応を行う事が出来、各ホテル最低限のお迎えする環境は整備できましたが、今後は、ソフト面の対応として、各部署でも外国語対応なども不可欠との意見も多かつた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在インバウンドは団体客が中心ですが今後は、個人客や少人数での利用が増えてくると思います。そういった中で海外旅行代理店などとの協業も今後考えていかないといけないと感じているとの意見もあつた。 ・各ホテルの共通した意見は、上記でも触れましたが今後は、ソフト面では語学研修による語学力アップと設備面でまだまだ不十分な館内案内多言語を図って行きたい。 			

様式第 1 - 3 別紙

宿泊事業者等団体

名称	湯田温泉旅館協同組合	
住所	山口県山口市湯田温泉5-2-20	
代表者氏名	宮川 力	
連絡先	083-920-3000	
構成員	<p>西の雅常盤・ホテルかめ福・ユウベルホテル松政・古稀庵・ホテルニュータナカ・松田屋ホテル・プラザホテル寿・西村屋・湯別当野原・梅乃屋・富士の家・ホテル喜良久・ビジネスホテルうえの・山水園・お多福・入船旅館・西京・ステイズイン山口湯田・一富士旅館・京栄旅館・スーパーホテル・一福旅館・グリーンリッチ山口湯田温泉防長苑</p> <p>(構成員25者、うち補助対象事業者5者)</p>	
団体事業	具体的な内容	ムスリム対応マニュアル作成
	実施時期	平成28年12月22日～平成28年12月27日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 125,000円 補助金合計 62,000円
個別事業	具体的な内容	Wi-Fi整備 3件 館内案内標記の多言語化 2件
	実施時期	平成28年11月22日～平成28年12月31日
	必要な資金の額及びその調達方法	補助金対象経費合計 4,053,000円 補助金合計 2,026,000円

全体稼働率の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	45.8 (%)	48.0 (%)	67.9 (%)
	第2四半期	54.3 (%)	56.9 (%)	68.8 (%)
	第3四半期	58.7 (%)	62.3 (%)	66.3 (%)
	第4四半期	51.9 (%)	55.3 (%)	60.5 (%)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	これまで団体客を中心とした施設であったが、ここ最近FITのお客様が増加してきており一部屋当たりの宿泊人員が2名強となっていることが、稼働率のアップにつながっている。今回エントリー5施設中4施設が旅館のため今回の結果となった。			
合計外客宿泊者数の目標及び実績値		<事業開始前>	<目標>	<実績値>
	第1四半期	2,299 (人)	3,000 (人)	1,864 (人)
	第2四半期	796 (人)	1,500 (人)	1,300 (人)
	第3四半期	1,140 (人)	1,700 (人)	2,793 (人)
	第4四半期	1,198 (人)	1,900 (人)	3,159 (人)
目標を達成した理由 (達成できなかった場合はその理由)	第1四半期、第2四半期とも韓国からの宿泊者が減少している。要因として宿泊希望日が週末に集中しているうえに料金的に折り合いがつかず他地域に流れたことが考えられる。一方台湾からの旅行客が伸びている。行政主催の商談会への参画や、台北温泉祭りへのブース出店等台湾を重点地域とした取組の成果と思われる。			
その他事業評価に関する事項及び当該事業評価を踏まえた次の一年間における事業の改善策	各宿泊施設が、行政主催の商談会に参加しまた現地旅行社と継続的にコンタクトを取ってきたことが今回の実績に直結している。 今後欧米からの宿泊者の拡大に向け「座禅・写経・精進料理」が体験できるタクシープランを設定（山口観光コンベンション協会主催）し、現地ランドオペレーターを通じ販売を開始した。また旅館においても泊食分離プランの設定も考えていく必要がある。 山口でしか体験できないプランを増やしていき海外からのFITへの対応を強化していく。			